

新美術新聞

11 / 1 450円
NOVEMBER 2013

(株)美術年鑑社
発行所：〒101-0054 東京都千代田区
神田錦町3-15 電話：03-3295-1635
発行人：油井一人 編集人：磯貝洋次
E-mail: shinbun@art-news.co.jp

美術情報総合ホームページ

アートアニュアルオンライン

Art Annual online

美術年鑑社 検索

<http://www.art-annual.jp>

〈ご購入のお申し込み〉

電話、またはホームページまで

本号の主な記事

1面

- ・文化勲章、文化功労者 決まる
- ・塗師祥一郎展 安井収蔵
- ・藤森兼明 鈴木綾子
- ・描かれた都

2面

アートマーケット情報 桂木紫穂
日々好日 西中千人
追悼 日野耕之祐氏 内山孝



今を作る

ニシナカ ユキト
西中 千人



10月も中旬なのに真夏の陽気が戻り、再びハイビスカスが咲き始めた。ここ房総半島の太陽は、太平洋の向う岸、カリフォルニアのそれによく似ている。

ひたすら厳しいエルサレムの太陽ではないけれど、どこかパンチの足りないサンクトペテルブルグの太陽とも違うなあ、などと思いつつ、耐火セメントを叩き壊し鉄骨を切断し、ガラス熔解炉のメンテナンスを始める。

刈り取られた後の田圃を優雅に闊歩する白鷺や鈴が転がるようなスズムシの声が、この国の豊かな自然の一部として生きる贅沢を実感させてくれる。

伝統や古典をアリガタイ学問にしてしまい、知識や蓄積で作る日本庭園が当り前になったままという現状が残念

ではないので、近年、ガラスを使った日本庭園プロジェクトを始めた。

マサイの村でキリンやヌーの頭越しに、気球に乗って見た日の出と、ススキの海原とビニールハウス群の向こうに沈む茂原の夕陽を、47億年間繰り返される自転と公転により生じる現象としてしまふのはどうかなあと思うし、太陽とか自然がヒトに優しいのは、この惑星の一部のエリアだけなのだ、と考えたりもする。

どんどん近くなる地球上の都市、増々速くなる時代の変化をシッカリ受け止めながら、流されることなく生きるコトの大事だ。

甘く優しい金木犀の香りに溺れながらガラス垣塙を交換するという作業は、心の中にある壁を壊し、自らをリセットするための儀式。

生きている私が今を作る、太陽が変わらず照らしつづけるように。

(1964年和歌山市生まれ、ガラスアーティスト、www.nishinaka.com)